



早いもので11月を後半を迎えます。

子どもたちの世界は生活発表会に向けてのムード一色といたいのですが、年長児たちはドッチボールに向けての心の方が今の所大きくて、それどころではありません。

ドッチボールが終わると生活発表会一色になるでしょう。

■いよいよドッチボール大会!!

ボールを投げればどこに行くやら、転がるボールをあわてふためいてキャッチできず、ルールも分からずボールを持ち相手の前に堂々と立つが多かった最初の頃。

今では朝から午後とある自由あそびの時間は年長児たちの練習試合の毎日です。

やっとドッチボールらしくなってきました。鋭いボールを投げる子! そのボールを平気でキャッチする子! クラスにエースが出てきました

でも、怖がって逃げる専門の子や投げてもコントロールがまっさらな悪戦苦闘の子もあちこちに。



■11月22日(木)

観戦の方は午前10時15分にご来園ください。

子どもたちは、クラスを2チームにして、

6チームによる対抗戦です。チームの名前・キャプテン・ポジションも自分たちで決めます。

白熱のゲーム展開が予想されます。

子どもたちの対抗戦の後にママたちによる熱いクラス対抗の「女の戦い!!」を予定しております。

使用ボールは、子どもたちのよりソフトです。身軽な装いに運動靴を用意してください。

(心の育ちシリーズ)

あそびの大切さ

2歳児 3歳児は自己中心言動が主流を占めます。

幼稚園でも、4月から5月にかけて、そのあそびはひとりあそびがあちこちで見られ、時折りふたりであそんではいるが自己主張のぶっかかり合いて離れては他の子と一緒に、一緒になってはぶっかかり合いのくり返しです。

成長してくると2人から3人ぐらいであそぶ姿が増えてきます。年中児になると、ほとんどが「グループあそび」が主流になります。

子どもたちは、自己主張をしたいがそれを貫くとケンカになるからがまんすることの必要を知るようになります。これが集団生活での学びになるのですね。

成長してくると、グループ内で簡単なルールを決めてあそびはじめ楽しさが倍増してきます。

さて、年長児となるとあそび巾がぐーんと広がります。もちろんひとりであそぶ子、少人数のグループであそぶ子たち、また20人ほどのグループにわかれて、ルールに基づくドッチボールに耳を組めるようになります。

自発的の園生活は自由な活動と課題ある活動のふたつに分けられます。どちらも子どもたちの育ちには無くてはならない大切なものです。どちらかが重くどちらかが軽くなってはいけません。お互いに支え合って行かなければならないのです。